



相原古墳

ムナカタの武人

市内最大の前方後円墳

相原古墳は、河東の薄牧場の敷地内にあります。周辺からは古墳の盛土の一部しか見ることができませんが、実は、この古墳は市内最大の前方後円墳でした。

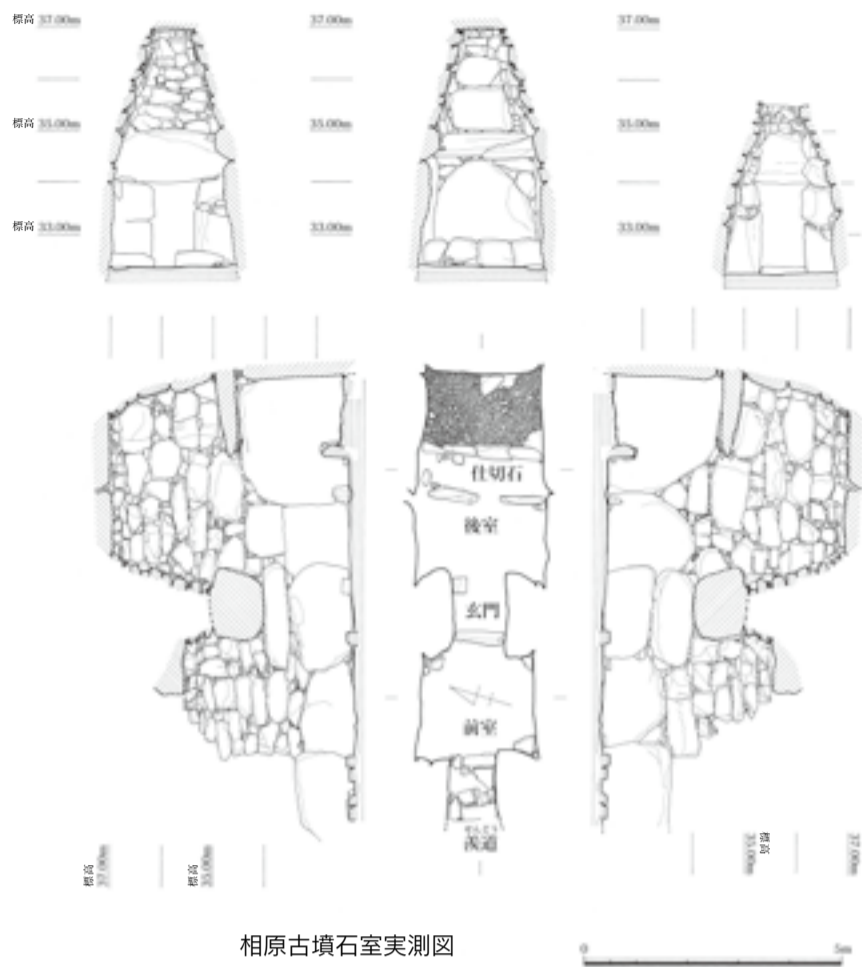
東海大学付属第五高校の歴史クラブが昭和47年、墳丘の測量を実施した結果、墳丘の残存長は62m、前部約32m、後部直径約30

特徴的な石室

相原古墳の石室(せきしつ)を、福岡教育大学の波多野院三(かんのう)先生が、昭和46年に調査しました。さらに、平成23年に市

教育委員会が追加調査しました。その結果、大きな「石柵

を、高さ9mでした。その後、墳丘は、造成工事をかろうじて覆う規模で残っています。



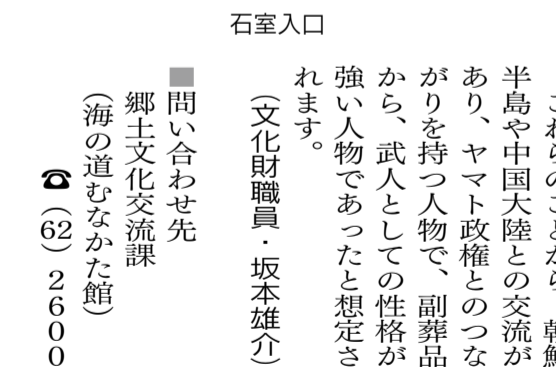
相原古墳石室実測図



石柵



後室奥壁



石室入口

数少ない石柵を持つ古墳

現在、県内で「石柵」を持つ古墳は、約25基確認されています。宗像地域では、本市の「平等寺瀬戸1号墳」「桜京古墳」、福津市の「勝浦高原5号墳」「新原・奴山(ぬやま)34号、44号墳(国史跡津屋崎古墳群内)」、の5基が確認されています。

25基のうち、県内で「石柵」を持つ前方後円墳は、本市の「桜京古墳」

豪華な副葬品

副葬品の馬具の中には、沖ノ島の祭祀(さいし)遺跡や韓国昌寧末吃里(しよねい)まつきつり)遺跡で出土した馬具によく似たものが見つかり、新羅(しら

これら副葬品から、6世紀後半に造られた古墳と考えられます。

墓の主は...

石柵を持つ古墳の被葬者は、類例から、かなりの有力者であったと想像できます。

特に、新羅系の馬具は珍しく、同古墳のすぐ後の時期に造られた相原2号墳からも、新羅土器が出土しています。また、完形品はありませんが、刀、鉞、鏃、鏝、青の武具が一通りそろっていました。



現在の相原古墳の墳丘

問い合わせ先
郷土文化交流課
(海の道むなかた館)
☎(62) 2600

(文化財職員・坂本雄介)

宗像シティボウル / 宗像バッティングセンター

TEL 0940-36-6833

夏休み ジュニア ボウリング教室

対象: 幼児～中学3年生まで

※小学生未満の方のご参加は保護者同伴をお願いします。親子でのご参加もお待ちしております。

日時: 7月27日(土) 〇10:00～12:00
7月28日(日) 〇10:00～12:00
※開催日前日までに申し込みをお願いします。当日受付はできません。

場所: 宗像シティボウル
費用: お1人様 500円 (貸靴代込み)

参加者には宗像シティボウルから素敵なプレゼントがあります

- 内容
- ルールをおぼえて楽しくあそぼう!
 - 投げ方を覚えてストライクをねらおう!
 - ボウリングマシン見学
 - 田沢広也プロのデモ投球あり



所在地 宗像市王丸徳丸772

ボウリング 10:00～深夜5:00迄(日・祝のみ9:00から)
バッティング 10:00～深夜0:00迄(日・祝のみ9:00から)

宗像シティボウル 検索

家族・友人と楽しめる イベント盛りだくさん! 詳しくはホームページをご覧ください。